

《松川町》 松川町地域ボランティアセンター

〔センターの基本事項〕

所在地	〒399-3303 下伊那郡松川町元大島2930-12			
電話 FAX	0265-36-3778	0265-34-1062		
電子メール	msya@ch-you.ne.jp			
HPアドレス	http://www.matsukawa-shakyo.net/			
職員数	正規	2名	嘱託	—
	臨時	1名	その他	—
開所日と時間	平日 8:15～17:15 土日祝			
情報誌	ボランティアだより “ふれあいひろば”			
	隔月奇数月(年6回)発行			
来所者数	約1,800名			

〔センターの運営方針・指針等〕

地域福祉向上を目指し、住民の皆さんをはじめ、地域で福祉活動を行う組織・団体や社会福祉施設、行政等と協働で様々な福祉事業を遂行する。
松川町のボランティア活動の拠点として、ボランティア活動の推進・支援、ボランティアとボランティアを必要とする人とを結ぶコーディネートを行う。

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	原則的には費用負担無し、対象者：町内ボランティア団体・福祉団体・社会福祉に関連する団体
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	テーブル、ソファ、流し、湯のみ茶碗、テレビ、新聞・情報誌、無料お茶、自動販売機
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	コピー機、輪転機、用紙、紙折機など 用途によって費用負担有り、対象者：指定無し
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	高齢者擬似体験セット、車イス、ベット、DVD、機材、遊具 用途によって費用負担有り、対象者：主には町内ボランティア団体・福祉団体・社会福祉に関連する団体
登録グループの専用ポストの設置	—	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
委員構成	—		
事業への関わり	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	無
名称	松川町ボランティア連絡協議会		
協議会構成	社協へ登録されているボランティア団体の代表者と会長・副会長・書記を置く。 27名		
工夫点	—		
課題点	各ボランティアグループの高齢化 (新規入会者が少ない)		

〔財源〕

人件費	独自財源	共同募金	委託料・補助金	民間助成金	その他
	<input type="radio"/>	—	—	—	—

事業費	独自財源	共同募金	委託料・補助金	民間助成金	その他
	<input type="radio"/>	—	<input type="radio"/>	—	—
					介護保険料、社協会費 町補助金

〔業務及び事業について〕

ボランティア活動支援

相談・コーディネート	○	独・委
ボランティア保険加入事務	○	独・委
ボランティア・NPOへの助成	○	独・委
各種情報提供	○	独・委

広報・啓発

ボランティア広報誌・情報誌の発行	○	共
ホームページの運営	○	共

相互交流・ネットワークづくり

ボランティアの集い	○	—
先進地視察・講演会・活動発表会・交流会など(年1回開催) 運営方法：実行委員(役員)が計画、実施		
ふれあい祭り等の開催	—	—
—		

ボランティア講座

未経験者向け	—	—
—		
活動者向け	—	—
—		

その他の事業

災害ボランティア立ち上げ訓練	共
被災地への支援や、災害を想定した訓練(年1回) (行政と協働の元、民生児童委員・福祉推進委員・総務社会委員・赤十字奉仕団・町民の参加)	
希望の旅	独
年2回(日帰りと一泊)障がいがあり、普段出歩く事のできない方の旅行	
ふれあいサロン支援	共
各地区のサロンの推進と支援 (講師の紹介・用具の貸出等)	
福祉懇談会	独
町内3会場で地域の福祉課題の発掘や社協活動のPR	

福祉教育・ボランティア学習

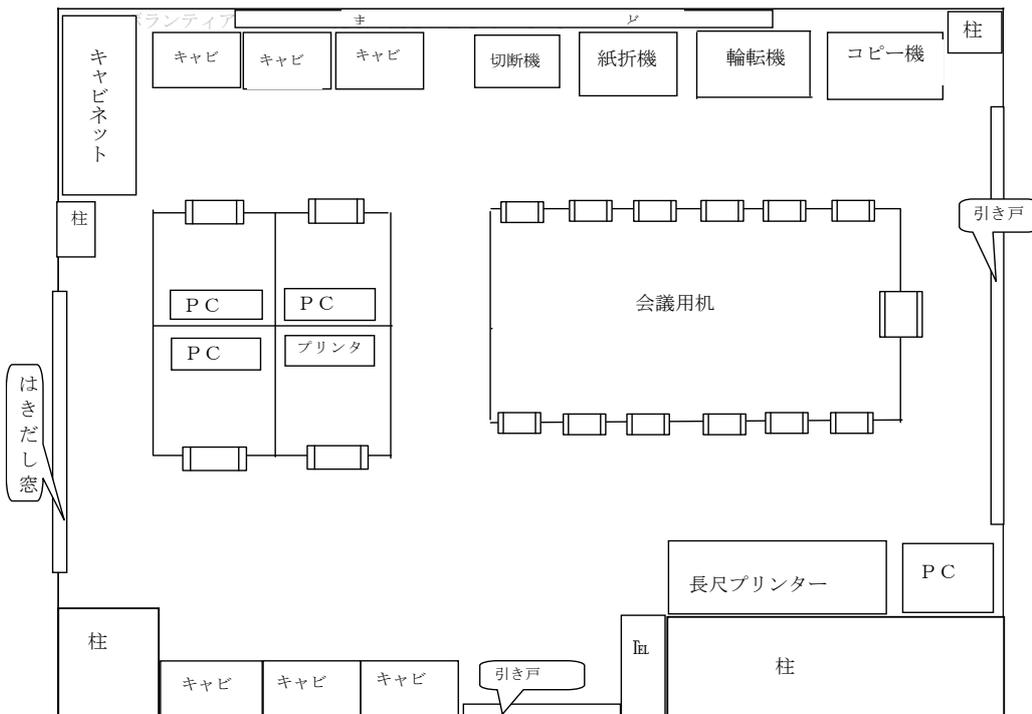
小中学生対象	○	独・共・委
・点字学習一点字ボランティア“ほしの会”OB ・高齢者擬似体験学習—社協職員 ・車イス体験学習—社協職員 ・「ふくし」ってなに?—社協職員 ・町内にある様々な施設の説明—各施設担当者		
高校生対象	○	独・共・委
・3学年選択教科「社会福祉基礎」の授業 松川町の社会福祉の現状と課題、車イス体験学習、高齢者擬似体験学習、高齢者に接する時の留意点 講師：松川社協		
大学・短大・専門学校生対象	—	—
—		
教員・学校関係者対象	—	—
—		
一般対象	—	—
—		
福祉教育協力校への助成事業	○	—
総 額	130,000円	1校あたり 20,000~30,000円
小 学 校	3校	中 学 校 1校
高等学校	3校	そ の 他 —

配食サービス	委
独居や高齢者のみの世帯に昼の配食	
日常生活自立支援事業	独・委
障がいのため判断能力が十分でない方への支援	
—	
—	
—	
—	

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？	担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？	名称：第2次 松川町地域福祉活動計画 内容：平成23年度～平成27年度までの5ヵ年
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？	アドバイザー有り
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？	—
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等がありますか？	
連携・協働先	連携・協働内容
—	—
—	—
—	—
○センターの強みと弱みについて	
《強み》 学習の中から生まれてきたボランティア活動に古い歴史があり、ボランティア活動が盛んに行われている。	《弱み》

○VC見取り図



○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど ・ボランティアのニーズに対して、必要としている条件のボランティアさんが見つからない時、どのような情報集めをしていますか。また必要としている方へのその後の対応はどうされていますか。 ・地域の課題把握にどんな動きをしているか。

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	ふれあいひろば
目的	幼児からお年寄り、障害を持つ人持たない人も一堂に会し、ふれあいの中で、お互いの立場を理解し助け合い、思いやりの心を持ち「ともに生きる福祉のまちづくり」を考える。
開催頻度	年1回
内容	福祉活動の啓発の場を念頭に、ボランティア団体の発表や、福祉を体験しながら、お年よりから子供までふれあいがもてるよう工夫する。 54の参加団体。
対象者	町内福祉団体、ボランティア団体、姉妹都市身体障害者福祉会
企画のポイント 事業成果	活動の発表の場
参加者の声や その後の動き など	

事業の様子



事業の様子の写真等を
添付してください